MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン別売部品

セルラーアダプタ取付部材

据付工事説明書

販売店・工事店様用

PAC-SL50CAB

適用機種　室外ユニット(P28～P63 形)

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事前にこの据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据え付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告（誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの）

●据付工事終了後、❹「据付工事後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。
お客様に、取扱説明書とともに大切に保管していただくように依頼してください。

■“図記号”の意味は次のとおりです。

禁　止	指示を守る

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない。
誤動作による事故の原因になります。

■心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着している方の近くで使用しない。
医療機器の誤動作の原因になります。

■お客様ご自身で分解・改造・修理をしない。
感電・火災・ケガの原因になります。

■以下の場所にアダプタを設置しないこと。
・可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所
可燃性ガスがアダプタの周囲にたまると、火災・爆発の原因になります。

■以下の特殊な環境にアダプタを据え付けないこと。
・油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところ
・酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
電気部品腐食による感電・性能低下・故障・発煙・火災の原因になります。

■お客様ご自身で分解・改造・修理をしない。
修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

■据付けは、お買上げの販売店又は専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、感電・火災・アダプタの落下によるケガの原因になります。

■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、感電・火災・アダプタの落下によるケガの原因になります。

■異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止してブレーカーを切ること。
お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災の原因になります。

■アダプタを病院など医療機関に据え付ける場合はノイズ対策を行うこと。
ノイズが医療機器に悪影響を与え、医療行為を妨げる原因になります。

■梱包材は破棄すること。
窒息事故の原因になります。

■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。

■据付工事部品は、必ず当社付属部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、感電・火災・アダプタの落下によるケガの原因になります。

■配線や端子接続部に外力や応力が伝わらないように固定する。
接続や固定に不備があると、断線・発熱・発煙・火災の原因になります。

■アダプタの接続作業時はブレーカーを切る。
感電の原因になります。

■お客様ご自身で移動・再据付けはしない。
据付けに不備があると感電・火災などの原因になります。
お買い上げの販売店又は専門業者にご依頼ください。

■アダプタを水・液体で洗わないこと。
ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。

■濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。
感電・故障・発煙・火災の原因になります。

⚠注意（誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの）

■特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

■他の無線機器、電子レンジ、コードレスフォン、ファクシミリなどの近くで使用しない。
誤動作の原因になります。

■電源には必ず漏電遮断器を取り付ける。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

■電源配線は張力がかからないように配線工事する。
断線したり、発熱・火災の原因になります。

■パネルやガードをはずした状態で運転をしない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

■運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず 5 分以上待ってください。
水漏れや故障の原因になります。

■運転中の冷媒配管に素手で触れない。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。
素手で触れると凍傷ややけどになるおそれがあります。

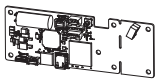
■運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れる。
電源を入れてすぐ運転を開始すると、故障の原因になります。
シーズン中は電源を切らないでください。

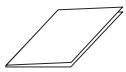
■静電気による破壊を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除く。
人体などからの静電気は、アダプタ本体を破壊するおそれがあります。

■取付工事・配線工事をする場合、接続機器の電源を切ってから行う。
接続機器の電源を切らなかった場合、アダプタ本体・接続機器の誤動作・故障の原因になります。

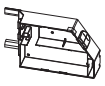
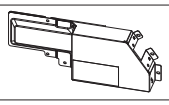
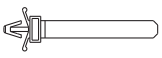
1 部品一覧

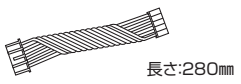
PAC-SL49CA

No.	品　名	形　状	数量
①	セルラーアダプタ		1
②	アンテナユニット		1
③	固定部		1

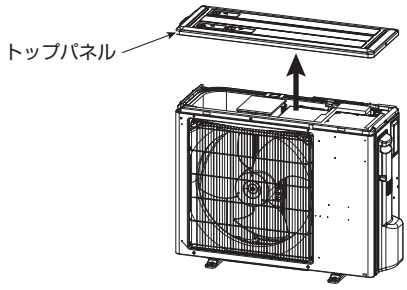
No.	品　名	形　状	数量
④	取付ネジ(M2×10)		2
⑤	二次元コード シール		1
⑥	取扱説明書		1

PAC-SL50CAB

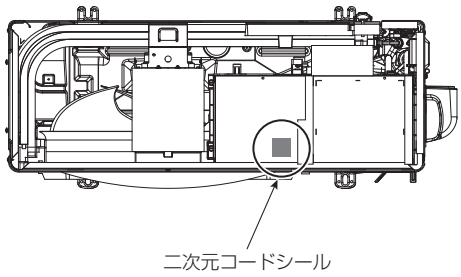
No.	品　名	形　状	数量
〈1〉	セルラーケース(下)		1
〈2〉	セルラーケース(上)		1
〈3〉	セルラーカバー		1
〈4〉	取付ネジ(M4×10) セレーション無し		2
〈5〉	取付ネジ(M4×10) セレーション有り		4
〈6〉	スペーサー		4
〈7〉	サポートスペーサー		1
〈8〉	ケーブルストラップ		1

No.	品　名	形　状	数量
〈9〉	リード線信号用(5極)		1
〈10〉	リード線電源用(3極)		1
〈11〉	ファスナー		2
〈12〉	結束バンド		2
〈13〉	白色緩衝材		1
〈14〉	クリップ		1
〈15〉	取扱説明書(登録編)		1
〈16〉	据付工事説明書(本紙)		1

2 アンテナユニットの取り付け

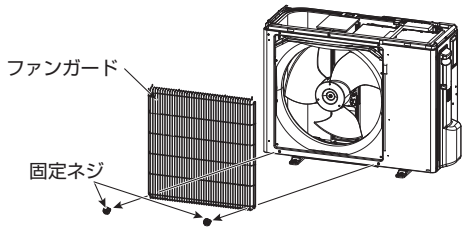


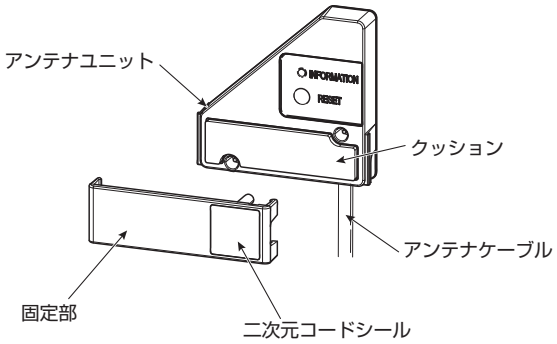
（1） 室外ユニットの電源（ブレーカー）を切る。
（2） 室外ユニットのトップパネルをとりはずす。



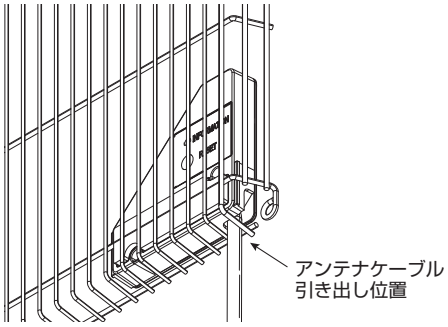
（3） 室外ユニットのトップパネルを外したところに二次元コードシールを貼り付ける。

（4） 固定ネジをとりはずして、ファンガードをとりはずす。

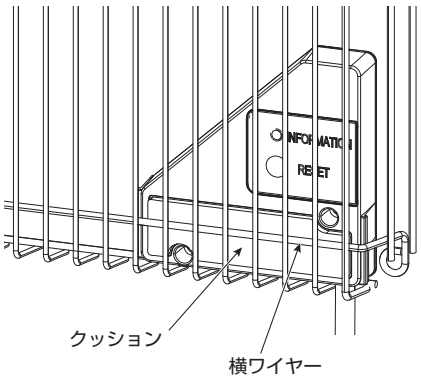




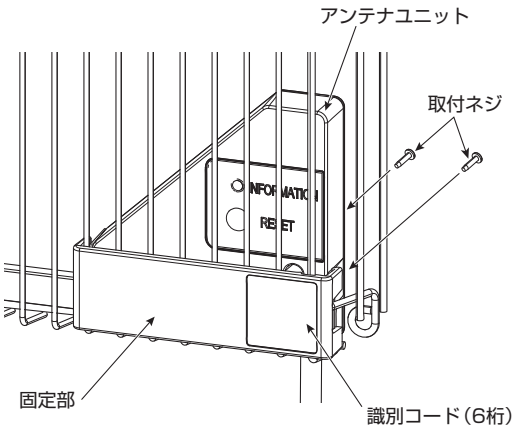
（5） アンテナケーブルを左図に示す位置に通す。



2 アンテナユニットの取り付け

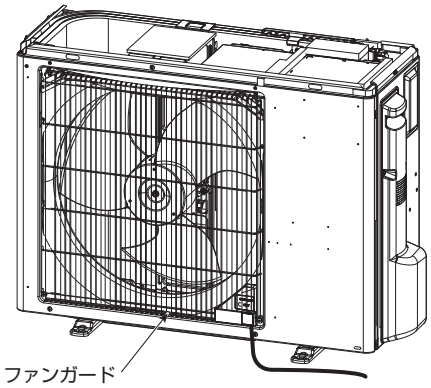


(6) アンテナユニットに付いているクッションを、ファンガード右下の横ワイヤーに裏面から当てる。

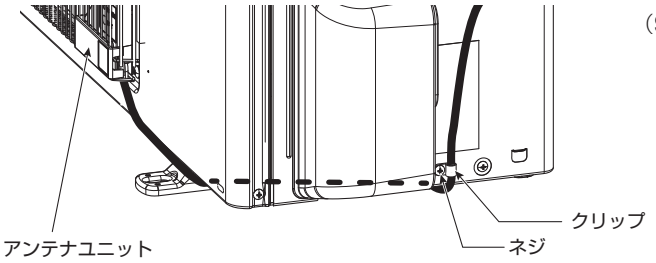


(7) 左図のように、表面からアンテナユニットの固定部でファンガードを挟み込み、取付ネジ(2本)で固定する。
※アンテナユニット固定部は横ワイヤーを避ける形状である。

(3)で貼り付けした二次元コードシールと
アンテナユニットに記載されている識別コード(6桁)が
一致していることを確認して据え付ける。

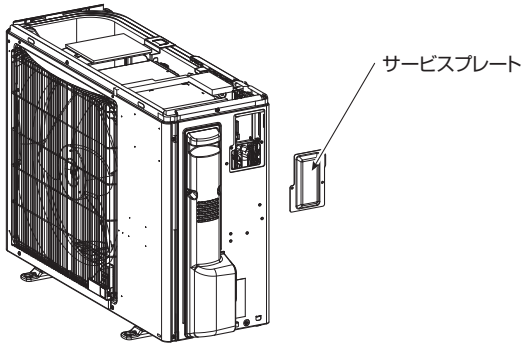


(8) アンテナユニットが付いているファンガードを元通りに取り付ける。

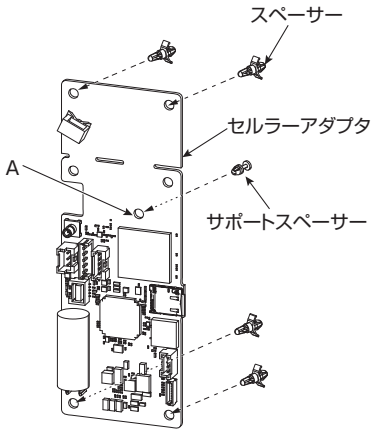


(9) アンテナユニットにクリップを取付け、左図の配線経路を通り、室外ユニットのネジを用いて共締めする。
注) 配線はたるみが最小になるように引き回してください。

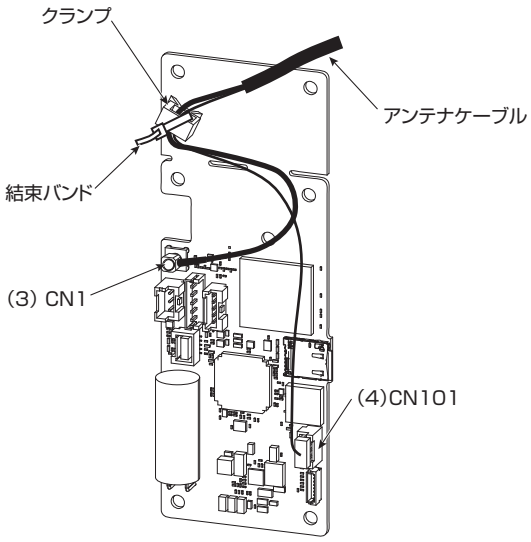
3 セルラーアダプタの取り付け



（1） 室外ユニットのサービスプレートをとりはずす。
※とりはずしたネジ(2本)は（14）で使用、とりはずしたサービスプレートは使用しない。

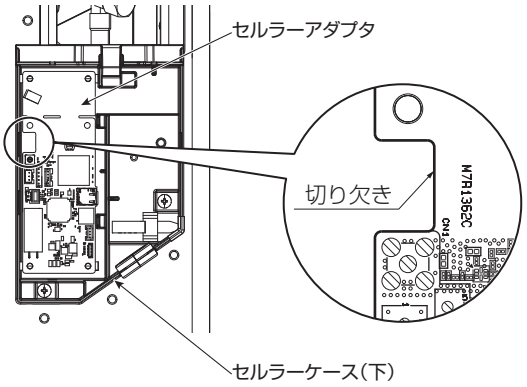


（2） セルラーアダプタの四隅の穴にスペーサー（4ヶ所）を取り付け、Aの穴にサポートスペーサー（1ヶ所）を取り付ける。



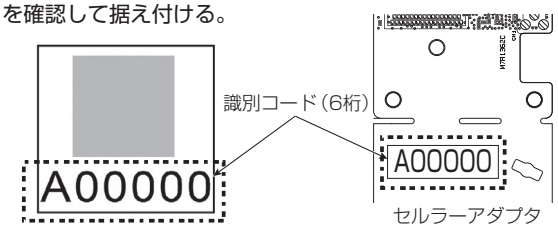
(3) セルラーアダプタのCN1とCN101にアンテナケーブルを接続する。
(4) アンテナケーブルは図のような配線をし、クランプに通し結束バンドで固定する。

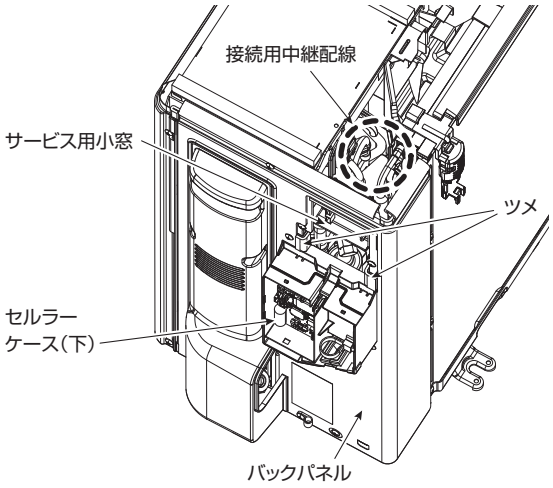
3 セルラーアダプタの取り付け



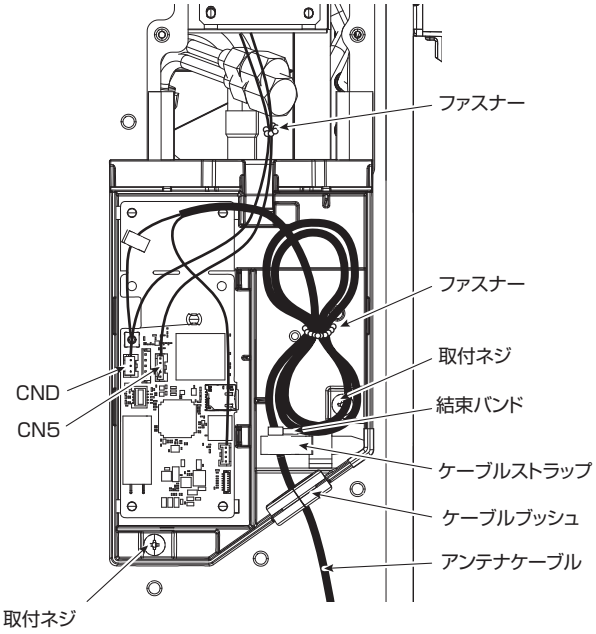
(5) セルラーケース(下)の左側にセルラーアダプタを切り欠き部が左上に来るように取り付ける。

「❷アンテナユニットの取り付け(3)」で貼り付けた二次元コードとセルラーアダプタに記載されている識別コード(6桁)が一致していることを確認して据え付ける。



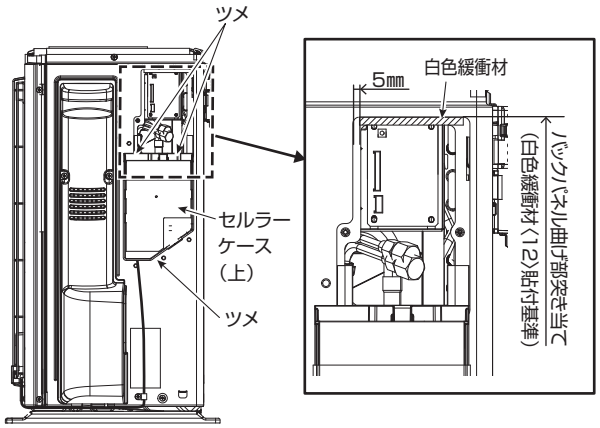


(6) セルラーケース(下)のツメ(2 ヶ所)をサービス用小窓へ引っ掛ける。
(7) セルラーケース(下)をバックパネルへ取付ネジ(2 ヶ所)で固定する。
(8) アンテナケーブルは、セルラーケース(下)のケーブルブッシュに通しケーブルストラップで固定し、ケーブルストラップ上側に結束バンドを取り付ける。(接続部に張力がかからないようにするため)
※結束バンドは強く締め付けし余剰分はカットする
(9) アンテナケーブルの余剰分はセルラーケース(下)にファスナーで束ねて格納する。
(10) セルラーアダプタのCN5にリード線信号用(5極)を接続、セルラーアダプタのCNDにリード線電源用(3極)を接続し、電気品背面に固定されている接続用中継配線と接続する。
※ 配線取付時にコネクタの色が同じになるように接続する。
(11) (10)で接続した配線をファスナーで結束する。



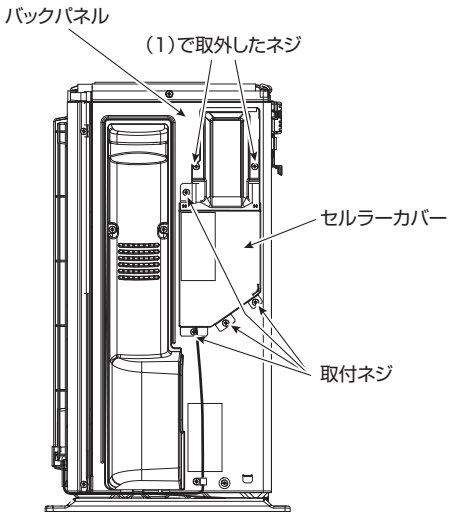
注) アンテナケーブル取込み部の隙間塞ぎについて
●アンテナケーブル取込み部は、お手持ちのパテ、シール材などを使用し隙間のないようにシールしてください。(音漏れ、又は昆虫などの小動物、雨水、粉塵などの侵入により故障の原因になります。)

3 セルラーアダプタの取り付け

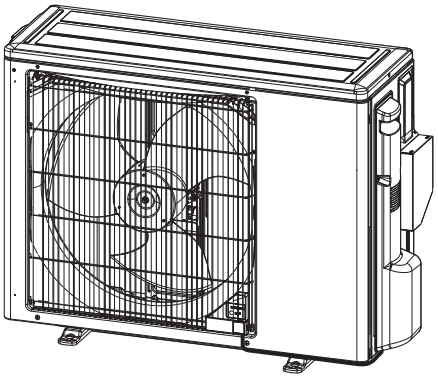


（12）セルラーケース（上）をセルラーケース（下）のツメ（3 ヶ所）にはめて取り付ける。
※リード線信号用（5極）、リード線電源用（3極）に取り付けられている黒色緩衝材（インスレーション）をセルラーケース（下）とセルラーケース（上）で挟みこむこと。（雨水・油などの侵入による故障の原因になる）

（13）白色緩衝材をバックパネルへ貼り付ける。
（雨水・油などの浸入による故障の原因になる）



（14）（1）でとりはずしたネジ（2 ヶ所）と取付ネジ（4 ヶ所）で、セルラーカバーをバックパネルに固定する。
※リード線を挟み込まないよう注意する。



（15）トップパネルを元通りに取り付ける。

4 据付工事後の確認 確認日 確認者名

□の中に✓ 印をいれて確認してください。確認後、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。

□セルラーアダプタとアンテナユニット固定部に記載されている識別コード（6 桁）は一致していますか？
□アンテナユニット／セルラーカバー / トップパネル／ファンガードは固定されていますか？
□工事終了後、元電源を入れましたか？

MEMO

三菱電機株式会社
静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1